

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（店 長）	販売量の動き	・売上、来客数とも大きく伸びてきているので、今月は販売増にチャレンジしている。店一丸となって1週間デザートキャンペーンに取り組んでみたところ、100個以上売れる商品が続出し、シュークリームは400個以上売れる日が2日もあり、取組次第で大きく売上を伸ばせることを確認する結果となっている。
	やや良く なっている	スーパー（店 長）	販売量の動き	・たまごの高騰が続き、目玉商品に仕入れた場合の赤字が大きい。特に良くなかった2～3か月前と比べるとやや良いが、実際に売上が好転しているわけではない。
		衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・1月以降3か月間の前年比は、販売客数102.4%、販売額112.9%、客単価110.3%となっている。来客数がなかなか増加しないが、女性層の財布のひもが若干ゆるんできたのか客単価が3か月とも上昇している。
		乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・3月は年度末という要因も後押ししながら、新車、中古車とも販売が上向き、車検、整備等の在庫も非常に多くなっている。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・このところ、情報誌への広告が影響したのか、送別会関係の団体予約が前年よりも増えている。
		都市型ホテル （スタッフ）	お客様の様子	・2月後半から3月前半にかけてスペシャルオリンピックス等もあり、客の入込みが多く、お金もそれなりに落ちている。また、3月に入ってから歓迎会などでいろいろと客の出入りが多い。ずっと続くものではないがやや良くなっている。
		タクシー（経営 者）	お客様の様子	・深夜の客の出足が良く、前年同月比で10%の増収となっている。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・特に大がかりな販売促進をしたわけではないが、ケーブルテレビやインターネットの契約数のベースアップがあった。前年同月比でプラス傾向にある。
	設計事務所（所 長）	競争相手の様子	・受注量が増加している。周りの設計事務所の仕事もそれなりに増えているようである。	
	変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・商店街への来客数が少なく、150メートル位の通りのうち8軒も抜けてしまった。今月に入り2軒が入ったのみである。
百貨店（販売促 進担当）		販売量の動き	・入進学関連の商品やレディースの春物商品の動きが悪く、景気の回復感が全く感じられない。	
スーパー（統 括）		単価の動き	・中旬まで気温の低い日が続いたため、春物の薄手のジャケットやコートなど衣料品が不振である。来客数、点数は増えているものの、単価は依然として落ち込んでいる。各食品メーカーのほとんどの新製品は健康を意識しているが、消費者の健康指向は一層顕著となっており、店頭での質問、要望がより専門化してきている。	
衣料品専門店 （経営者）		お客様の様子	・小中学校の制服や体操着を扱っているが、長袖ブラウス、靴下等を買控えるなど、客が必要な時に必要な物だけを購入する動きが目立っている。	
家電量販店（店 長）		来客数の動き	・同規模の店舗をみても、来客数は大幅には増えていない。デジタル家電のけん引で単価は高めに推移しており、全体の売上が単価で保たれている。	
乗用車販売店 （従業員）		販売量の動き	・最大需要月であるにもかかわらず、新車の販売台数は前年の70%であり、3か月前と比較しても一向に上向きになっていない。また、成約も廉価車種に偏っている。	
乗用車販売店 （販売担当）		来客数の動き	・今月に入り来客数がとにかく増えている。前年と比べても良くなっている。	
住関連専門店 （店長）		お客様の様子	・チラシ商品のみを購入するなど、買上点数が減少したままである。	
その他専門店 〔携帯電話〕 （営業担当）		販売量の動き	・3か月前との比較では、時期的な要素もあり販売量が増加しているが、前年比では伸びておらず、景気が良いとはいえない。	
高級レストラン （店長）		販売量の動き	・月の前半は極端に悪く、後半多少回復してきたものの前年比で5%程度悪くなっている。	

	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・ビジネス客の減少により、客室の売上が前年より10%ダウンしている。
	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・春休みの客の出足が悪く、家族旅行、卒業旅行が前年より2~3割減少すると見込んでいる。
	旅行代理店(営業担当)	来客数の動き	・今月に入り、例年同様年度末の需要が出ており、期待の愛知万博も開催直前から問い合わせや申込が入り始めている。ただし、いずれも交通機関の手配のみ、日帰りの万博見学など最小限の需要止まりで、販売増にはなかなかつながっていない。
	観光名所(職員)	お客様の様子	・別荘への入込状況は例年並みであるが、節約ムードが強いことから、レストラン、ホテル関係の利用は例年を下回っている。
	ゴルフ場(支配人)	それ以外	・冬季は気象変化の影響が非常に大きく、3月上旬に入っても、特に客足が伸びていた土日を雪でやられてしまった。
	美容室(経営者)	販売量の動き	・3月は卒業式などの行事で来客数の増える日もあるが、客単価は下がっている。パーマ客の減少がその原因の一つである。不ぞろいでもそれなりに人気があることから、カットの回数も減っている。売上全体ではそれほど変わらないが、単価は厳しい。
	その他サービス [自動車整備業](経営者)	来客数の動き	・リサイクル料金1万円前後という車検外支出があるにもかかわらず、在庫増となっている。年度末ということもあるが、前年度を8%上回っている。
	住宅販売会社(経営者)	来客数の動き	・公示価格の下落が発表され、春になり多少動きが出てきた土地売りにブレーキがかかってしまう。昨今は公示価格の推移が市場にマイナスイメージを与えている。
	住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・不動産の売買にせよ賃貸にせよ、客が非常に慎重で結論がなかなか出ない上に、最後は値引き交渉、キャンセルということで、デフレ現象に歯止めがかかっていない。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・春休みの観光客、年度末の歓送迎会利用客が少ない。
	一般小売店[青果](店長)	来客数の動き	・青果市場でもお彼岸で売れた八百屋はまずなく、客の多くは大手スーパーに行っている状況である。
	百貨店(店長)	販売量の動き	・ここ数ヶ月は前年の売上をクリアできていたが、今月に入り売上不振となり、前年比90%前半となっている。
	スーパー(経営者)	競争相手の様子	・大型競合店の出店により、ますます競争が激化してきている。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・2月からかなり落ち込んでおり、歓送迎会の予約も低調である。
	都市型ホテル(スタッフ)	単価の動き	・宴会、歓送迎会とも、料理に飲み放題もつけて5千円というケースがかなり多く、客単価が問題となっている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・この辺りのタクシーは電話受けがほとんどであるが、電話の鳴る回数が非常に少ない。
	その他サービス [自動車整備業](経営者)	お客様の様子	・今まで現金払いをしていた客が、分割やクレジットにしたりと、集金の形態が変わってきている。
	設計事務所(所長)	競争相手の様子	・年度替わりで新規の仕事が確保できていないという声が多い。3か月前と比べて良くなっているとはとてもいえない。
	住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・来客数ももちろんであるが、全体的なお金の動きが鈍い。
悪くなっている	コンビニ(店長)	競争相手の様子	・大型店の売出しがまめになってきている。商店街内と郊外にあるショッピングセンターの間にはさまれ、売出しのチラシ攻勢を受けて売上が非常に下がっている。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・例年であれば20名以上の歓送迎会予約が少なくとも8組は入るところだが、今年はたったの3組である。
	観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・愛知万博の影響で予約が伸びていない。
企業動向	良くなっている	-	-

関連	やや良くなっている	一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・受注、売上とも好調が続いている。新規引き合いも多数きているが、現状の仕事負荷が重く、受けきれない状況である。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・空室にテナントの入居が決まり、引越も済んで本格的に移動を始めたので、賃貸収入が増えている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注単価が据え置かれ、収益は依然として厳しい状況にあるが、受注量、販売量は増加している。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	取引先の様子	・各社ともワイン講習会、工場見学等で様々な工夫を凝らして努力しているが、依然苦戦している。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・鉄骨、鉄板などの加工の仕事が全然増えず、ガスの売上が悪い。
		金属製品製造業（経営者）	それ以外	・一次下請の場合は、化学や複合化製品等の競争力や技術によって景況感には相当格差があるが、当社の場合はやや良いままで変わらない。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・短納期でしかも単価が安く、苦慮している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・今のところ景気は悪くない。販売価格、受注価格、取引先の様子もほとんど変わらない。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・輸送受注先を増やしているが、各取引先の出荷量の落ち込みもあり、前年の数字をこなすのがやっとである。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・製造業については受注状況など全体的に横ばい状態である。プラスチック加工、鉄鋼関係は、原材料の値上がりによる利幅の縮小で収益が苦しくなっていると聞いている。
広告代理店（営業担当）		取引先の様子	・新年度の広告予算に大幅な増加はみられない。つくばエクスプレスの開業や、大型ショッピングセンターオープンという目玉はあるが、広告宣伝費全体でみると大きな動きはない。	
やや悪くなっている	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・チラシ出稿量はほぼ前年並みの102%で、特に良い業種、悪い業種も見当たらない。市内百貨店では、店内改装をしたものの客足は伸びず、売上は例年をやや下回ると聞いている。衣料問屋の話でも、出荷量は例年並みであるが、小売店の売上は鈍く、実際の売行きが伴っているのか疑問とのことである。全体的に様子見状態である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・試作等の引き合いは出てきているが、量産は相変わらず落ち込んだ状態である。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・11月以降、月日を追うごとに受注量が悪くなっている。今月は前年比マイナス13%であり、下降局面に入ってきたと感じている。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月上旬の展示会は来場数が大幅に減少し、売上の落ち込みも大きかった。その後来場しなかった取引先を回っているが、売上不振で展示会に行っても買えないといった声が多い。	
悪くなっている	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・自動車、電機等の製造業からのコマース受注は変わらないが、郊外に大型ショッピングセンターが開店した影響もあり、既存の大型店、商店街からのイベント受注が大幅に落ち込んでいる。官公庁、製造業及び地域からのイベントの値引き要求が厳しくなっている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年は年度末の駆け込み生産が大量に入るが、今年は全くそういうことがない。2月までは忙しかったが、3月はとても暇で、4月も3月並みかそれ以下という状況である。各メーカーが在庫調整を始めたような感じで、在庫がはけるまで生産をしないということ、かなり落ち込むのではないかと懸念している。	
雇用関連	良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先でパチンコ関係の仕事の受注がストップしている。
		-	-	-

やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 取扱製品により、同じIT関連メーカーでも冷え込んでいた派遣要請が上向いたところもある一方、契約終了も目立っている。年度末の契約更改時期であるが、継続物件が多い。登録者数は、正社員志向が強いことや就業率が高まっている背景もあり、前年同時期に比べ、約半数となっている。全体的にみると、このところの一服感からやや上向きに転じた感がある。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 各地区ともに求人数が過去最高の動きで、求人募集の出稿が増えてきている。
変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 今回新入社員の採用をしたが、募集内容状況や求職者の動きは前年とあまり変わっていない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 学卒求人数、内定率は前年より伸びているものの、一般新規求人のうち製造業が減少し、就職数も伸び悩んでいる。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 就職者数が1割ほど増加したが、新規求職者数も1割強増加している。年度末にかけて企業整備に関する相談が数件きている。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 求人数に大きな変化はみられないが、正社員からパート、アルバイト、派遣、契約、請負といった就業形態にシフトする傾向が顕著になってきている。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> この3月卒業予定者に対する求人は、結婚、出産、夫の転勤等による退職者の補充で、事務職を主に例年同様、数件の問い合わせがきている。
やや悪くなっている	学校〔大学〕（総務担当）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 全国的な企業内定率は良くないと報道されているが、本校の内定率は学部が94%、大学院が93%で、就職活動を継続している学生もいるが、わずが数人である。
	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 今月はかなり生産の追い込みで伸びているところだが、住宅関連等は原油製品の高騰などからかなり影響が出てきている。電機電子関連も一通り落ち着き、解雇というところが多くある。販売面では春物に向けた小売関係に期待をしているところだが、まだ動きはみられない。
悪くなっている	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> 相変わらずサービス関連のパート、アルバイトの募集は多いものの、依然として正社員の採用は少ない。また、製造業への人材派遣募集の広告は目立っている。